

避難情報・とるべき行動

警戒レベル4までに必ず避難してください。

※町が土砂災害に起因する避難情報を発令することはありません。

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞		
4	ひなんしじ 避難指示	危険な場所から全員避難
3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報 (気象庁)	災害への心構えを高める

5類移行後

避難所での新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ5類に位置付けられました。マスクの着用についても個人の判断が基本となっていますが、高齢者等重症化リスクの高い方が多く避難する避難場所においては、マスクの着用が推奨されています。

町においても、避難所運営者はマスクを着用するとともに、避難される方に対してもマスクの着用をお願いしています。

避難所で感染症等がまん延すると命を守る安全な場所でなくなるため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

避難所内の感染症対策(受付の流れ)



※避難者全員に実施します。

■体調が良好な方・・・・・・一般の避難スペース

■体調不良者・・・・・・体調不良者用の部屋で一時待機
(発熱、新型コロナウイルスに感染している方) その後あいあいセンターで受け入れ

防災クイズ

答えは5ページにあるよ！

【問1】 NTTの災害伝言ダイヤルの番号は？
①171 ②110 ③119

【問2】 避難グッズが入った「非常用持ち出し袋」の置き場所は？
①キッチン ②トイレ ③玄関



川越町上空からの写真

日ごろからできる防災対策

災害時に一番大切なことは命を守ることです。自然災害は、人の力でなくすことはできませんが、被害は日ごろからの備えにより減らすことができます。みなさんは、家族の命を守るため、災害に備えていますか？ いざという時に落ちついて行動ができるよう日ごろから家族や近所、地域での備えが大切です。



●川越町防災マップを確認しよう

洪水・高潮・津波のハザードマップと防災ガイドブックを各世帯に配布しています。災害ごとの浸水想定区域やご自宅の浸水深、避難先など家族で確認しましょう。また、防災ガイドブックのマイタイムラインを利用し、自分が避難する時にすべきことなどを書き出しておき、家族で共有しましょう。



●風水害に備えて家の周辺をチェックしよう

- ①窓ガラス 窓枠のがたつき、緩みなどがあれば補強する。飛散防止フィルムを貼る。
- ②屋根 瓦やトタンの剥がれ、ズレなどがあれば修理する。瓦の落下防止対策をする。
- ③ベランダ 強い風で吹き飛ばされそうなものは置かない。風が吹いてきたら、家の中に取り込んでおく。

- ④外壁・塀 ひび割れ、破損などを点検し、必要があれば補修する。
- ⑤雨どい 詰まりがないか確認し、日ごろから掃除しておく。

●地震に備えて家具などを固定しよう

- ①タンス 壁などに金具や転倒防止器具で固定する。
- ②本棚 壁などに金具や転倒防止器具で固定する。重い本は下に、軽い本は上に置く。
- ③食器棚 壁などに金具や転倒防止器具で固定する。棚板には滑りにくい素材のシートなどを敷く。ガラス戸には飛散防止フィルムを貼る。重い食器は下に、軽い食器は上に置く。
- ④照明器具 チェーンや金具で数か所固定する。
- ⑤テレビ 耐震マット、ベルトで低い位置に固定する。

